

岩舟地域包括支援センター 担当

- 日 時： 令和 8 年 1 月 21 日（水）午後 1 時 30 分～2 時
- 会 場： 栃木市役所大平総合支所 第 3 会議室
- 事 例 数： 1 ケース（令和 7 年 5 月 21 日検討した事例の振り返り）
- 参加者数： 10 名

〔事例提供者 1 名、助言者 6 名、包括職員 2 名、傍聴者 1 名〕

筋力低下があり認知症の妻と二人暮らしの89歳男性

〈目標〉1日:1日 10分程度ウォーキングマシーンで歩く。

1年:歩行が安定して今まで通り自宅で生活していきたい。

利用サービス:通所リハビリテーション、福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

支援方針:定期的な健康管理と運動の継続、バランスのとれた食事内容の検討や趣味を生かした社会参加により生活の活性化を図る。

- ①通所リハビリテーション利用時や病院受診時に健康状態を確認する。
- ②糖尿病の症状悪化を防ぐためにも服薬状況を確認する。
- ③明瞭な発語を獲得するためにも口腔周囲の訓練や筋力トレーニングを行う。
- ④円背が更に進み歩行状態が不安定になることがあるため、背中の上り下り訓練を実施する。
- ⑤認知症の方にとって料理は脳の活性化につながるため、妻の料理は続けてもらいながら、長女と協力して食事内容を検討する。
- ⑥趣味の家庭菜園を通じた外出機会の提案や傾聴ボランティアとの交流を提案する。

《支援結果・状況》

- ①②④⑤⑥達成:夫婦支援の訪問により健康状態・服薬状況の確認を実施。尿管カテーテル抜管となり、身体的状況の悪化は無い。通所リハビリによる交流、地域コミュニティによる見守りやゴミ捨て等の協力が得られている。
- ③未達成:家族・本氏に発音が明瞭でないという認識が無い。今後、通所リハビリで歯科衛生士に相談予定。